

## 会議録

会議名	令和3年度 第2回守山市スポーツ推進計画策定協議会
開催日時	令和3年10月6日(水) 午後7時から午後9時まで
開催場所	もりやまエコパーク交流拠点施設 環境学習室
出席者氏名	<b>【委員】</b> 大友智会長、向坂正佳副会長、大平雅子委員、依田充代委員、森貴尉委員、柴田文雄委員、武藤幸弘委員、福井康裕委員、下宇宿勲委員、西村秀樹委員、西村金治委員、山崎清委員、今井美恵子委員、村田和哉委員 <b>【市事務局】</b> 総合政策部 山本毅部長、池田あづさ次長、スポーツ振興課 野洲好範課長、灘野純司係長、高木覚主査、布施明朗指導主事
欠席委員氏名	
傍聴人数	2人
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1)守山市スポーツ推進計画策定協議会第1回会議開催結果について (2)第3期守山市スポーツ推進計画骨子(案)について 4 閉会

発言者	発言内容等議事
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
事務局	3 議事 (1) 守山市スポーツ推進計画策定協議会第1回会議開催結果について 資料1 (2) 第3期守山市スポーツ推進計画骨子(案)について 資料2-2 (事務局説明)
委員	基本理念について、「誰もが」「どこでも」「いつまでも」良い語呂になっていると思いますが、気持ちの中で「誰もが」というところに「誰とでも」が入っているという前提でこれで良いかと思います。前回の会議の時も西村秀樹委員から、障害者スポーツは障害者も健常者も一緒にできるスポーツだのご意見をいただきました。その気持ちがそこに入っていれば結構かと思います。
事務局	「誰もが」という部分において「誰とでも」の意味を含む考えです。  柱1 ライフステージに応じたスポーツの推進について 資料2-3 (事務局説明)
会長	成人のスポーツ推進は40代、50代などになりますが、家族や友達、働き・子育て世代が、楽しめるイベントができればと思います。例えば、ゆるマラソンは休憩や交代しながら走ることができ凄く人気があるみたいです。親が子どもに引きつられて一緒に取り組むようなアイデアがあればと思います。
事務局	家族で参加できる野洲川健康ファミリーマラソンなどのイベントを引き続き開催していきたいと考えております。
会長	前回の会議で、たくさんの市民の方が参加しているイベントの写真を見せてもらいましたが、例えば、いくつかのルートをまわるスタンプラリーのようなイベントがあり、市から景品がもらえるような仕掛け

	<p>ができればおもしろいと思います。</p>
事務局	<p>今後導入予定のビワテクというアプリは、市のイベントに参加するとポイントが貯まる仕組みになっているので、啓発していきます。</p>
会長	<p>資料2-2における新たな数値目標について皆さんいかがですか。</p>
委員	<p>小学生の障害者スポーツの経験割合100%と資料を見たときに、正直「えっ」と思ったんですが、100%というのはどういう意味合いですか。</p>
事務局	<p>市内全9小学校において、毎年どこかの学年で障害者スポーツの体験授業ができないかと考えています。毎年、小学校4年生が環境センターへゴミの学習へ授業で訪れる仕組みがあるので、守山市の小学生全員がどこかの学年で障害者スポーツをやると皆がやれるという思いで最初は考えていました。</p>
委員	<p>コロナのことはありますが、守山市障害者スポーツ協会やゴールボール協会で行かせてもらっていて、現状、半分以上の学校で取り組みがなされていますので、それを1年間の中で、全学校のある学年に何らかの障害者スポーツ体験であれば、しんどいですが、そういう取り組みで進めてもらえば出来る限りの協力はしていきたいと思います。</p>
会長	<p>中学校1、2年生の体育の授業は、年間150回程度行われています。そのうち16時間は保健の授業です。球技、ボール関係の授業の中に、ネット型というのがあります。ゴールボールは、相手に邪魔されず行うテニスや卓球などに近いですね。そのような経験は良いと思います。特に体育の授業の中では、共生概念をきちんと教えることを小学校低学年から位置付けられています。そういうことを守山市として、元先生の方と協会と連携し何かできるかもしれない。例えば、2時間ぐらいミニミニ単元をつくりましょうとか。10時間になると陸上などは色んな領域があるので厳しいですが、何かできるかもしれない。特に中学校1・2年生では体育の中の枠で全領域を学ぶことになっているので、それを活用しましょうということはあると思います。</p>
副会長	<p>多様なスポーツに取り組み人間性を理解することが一番重要だと思います。</p>

	<p>います。まず、小学校の方で令和3年度に全小学校で計画しております。全出来るだけ体系化して、制度化していこうかという段階なので、まだどの学年や時期がいいのか、総合的な学習の時間がいいのか、保健体育でいくのか順に考えながら、自分たちの身近であるスポーツになることが1番良いのではないかと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>2018年に日本ティーボール協会から文科省を通じて各県の教育委員会にティーボールの案内が来たと思います。誰に聞いても、先生に聞いても知らないと言われた。結局、やる者や指導する者がいないとできません。私たちが認定証をもらいに行くと、私たちがしますよ、見ますよと言っても時間が取れないと。ティーボールを簡単に説明しますとティーの台に、ウレタンのボールを置いて、ビニール系のバットで打ちます。塁間15mで打って走って、1イニング5人で交代します。私は野球の関係ですから、それをもって野球のチームに入ってもらい形ですが、実際、そういうことが教育委員会を通じて情報が下までいっているのか、それをお聞きしたいです。</p>
<p>副会長</p>	<p>現在のところ直接降りてきていることはないと思います。ただ、ティーボールに近い形の競技は、小学校の体育のなかでやっていますので、それが制度化されている形ではないです。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、守山市で3年生以下の大会を11月3日にします。そういうところから、子ども達がスポーツを楽しんでもらえる形で、私どもの体験会に17~18人が来てもらい、入ったのは半分ぐらいでしたが、そういう形でチーム作りをしています。誰でもできるとしてやってもらえたらありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>2020年度から新学習指導要領があり、すべての学校でやっています。低学年については、ベースボール型の区分は無いですが、ベースボール型に繋がるようなゲームをしましょう。小学校3・4年生、5・6年生、中学校1・2年生でどちらかの学年で必ずやらないといけないとなっています。やり方はティーボールや投げる形のもの、三角ベースでも構いません。色々な形で進められています。</p>
<p>委員</p>	<p>40代、50代の週1回スポーツする人が50%を下回っている。80代の人でも下回っている。例えば、40代50代の人10人いたら、5人は必</p>

	<p>ず週1回はスポーツしている。こういう事でいいんですよ。2人の人がいて、毎日運動している人が、1週間で7回でカウントされ、全然してない人はゼロ。7を2で割っているパーセンテージではないですよ。50%はかなり高い率であり、それ以上に上げるのはしんどいと思います。</p>
事務局	<p>スポーツの定義は30分以上の運動も含まれているので、例えば、通勤で30分以上歩いている人もカウントされます。</p>
委員	<p>例えば、80代の人が買い物に行くのに、往復で30分以上歩いたら、それでもスポーツをしたという見解で理解しました。</p>
委員	<p>ライフステージに応じたスポーツの推進ということで、総合型スポーツクラブに関して言うと高齢者のスポーツ推進の部分の歩こう会、小津クラブで言うと年間12回開催していますが、それ以外のものについて、取組みをあげているが、それぞれこれからやっていけないと思っていますが、これからの推進に対してどういう方法で推進していくのか、先の話にはなると思うが、スポーツの推進ということになるので組織的な形の物、保育園、幼稚園になると、自分のところの話ではないと見てしまう。障害者スポーツにおいて、小津クラブでは、ボッチャもやっています。広報もしているがなかなか参加者が集まらないということもあります。取組みはしているが、守山市のスポーツ振興という組織で物事を見ていくと、青少年の育成はスポーツ少年団、アスリートの育成はスポーツ協会、障害者スポーツは、市や文体、総合型もやっている。分かれてはいるのですが、これから全体的なことを推進していくにあたって、どういった形で今後されていくのか。今後の話になると思うが、全体的な取組みの仕方をどうするのか。組織づくり、拠点づくりをどういった形で作られていくのか。</p>
事務局	<p>取組みに関する推進方法や役割について、今後、計画の中に入れていきたいと考えております。</p>
会長	<p>責任を持って推進する母体について、どうなっているかの質問だと思いますが、回答として独立してあるということではないということですかね。そうすると、横串にさして省庁みたいに出向してきてもらって1つの機能集団をつくる。それはあり得るのかもしれない。例えば、</p>

	<p>文体の方で高齢者のことについて情報を集める人がいる。競技スポーツで高齢者についての情報を集める人がいる。その人が集まって、高齢者については、こういう風なアイデアはどうかというような議論をしてはどうか。そういう組織的なものがないとなかなか進まないのではないかというご意見だと思います。そういう場を作る可能性はありますか。</p>
事務局	<p>各団体との意見交換を行う場は必要かと思います。</p>
会長	<p>色んな組織があるなかで、高齢者のことについて取りまとめをするような場、それを何とか作ってもらえないか、その方たちの情報をネットワークをやって、高齢者のスポーツについての1つの責任母体とすることは良いアイデアだと思います。高齢化がどんどん進んでいくのが目に見えていますので、早く手を打つ、少しでもやる、組織の立ち上げもご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>ライフステージに応じたスポーツの推進では、子どもから高齢者、障害者まで幅広く入って行って、凄く難しい。幅広いところを少なく絞っているが、せっかく、前回委員がおっしゃったようにプロスポーツとの連携であったり、メダルを取られた選手の話の聞いたり、スポーツを身近に感じてもらう機会がここには書かれていません。障害者スポーツは授業で取り組まれていると聞きますけど、守山市としてこういうやり方をやりませんかというような、授業の一環なのか、総合的な学習時間にそういう機会を与えてもいいのではないかと思います。こうして、委員の中に、元Jリーガーの方が来られているので、子ども達のスポーツをする機会を与えていくような項目が他になかったので入れてもらっても良いかなと思います。</p>
事務局	<p>ここに記載している部分までしか行政ではしないというわけでありませので、皆様からいただいたご意見を受け賜わって、計画に反映していきたいと思います。</p>
委員	<p>各団体の方が集まり、それぞれに努力され、スポーツの振興をされていると思いますが、高齢者の方や外に出かけられない方がおられると思いますが、地域におけるそのような事を掘り起こすではないですけど、そうしようと思うと、守山市では「わ」で輝く自治会応援報償が</p>

	<p>ありますよね。そこを利用して各地域で降ろしていけばどうかと思います。</p>
委員	<p>スポーツのことは割と入っています。申請しています。</p>
委員	<p>上層部の方たちがきちっと下に降ろして、こういうのがあります、活用しましょうというようなスタンスをとっていかないと広がっていかないと思うので、そこを周知徹底された方が良いと思います。それと、地域の方がしようと思う気持ちを起こさす人材が必要だと思います。人材がいないと進んでいかないと思います。</p>
委員	<p>先ほどボッチャをされていると意見がありましたので、ぜひ守山市の障害者スポーツ協会と連携して進めていきたいなと思ったので、連絡を取らせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>運動の普及啓発のところで、動機づけをする人材について意見がありました。例えば、簡単に自宅でできる運動の情報発信とか、すごく魅力的なものを発信されても、やっていない方は自分ごとになかなか思えないと思うので、そのあたりで自分の現状で何が足りないのか、何をやったら良いのか、ビワテクのアプリでそこまで分かるかわからないですが、自分がやらないといけないような現状を知るような機会を一緒に提供してもらえると、なかなか一歩が踏み出せない方の一歩になりやすいと思います。高齢者の運動の普及啓発のところで、成人に関しては、自宅で行う話が入っているが、高齢者に関しては身近な場所で意図的に入っていないのかどうかと思いました。</p> <p>ソーシャルサポートの観点で、皆さんとの交流が必要だからどこかに出てほしいことなのか、高齢者の方もお家でできることも重要かと思ったので、高齢者の方にも自宅でできる運動を推進するのも1つではないかと思いました。あと、数値目標のところで運動が好きな子どもの割合は、柱のなかの説明では運動やスポーツの話をされているのですが、スポーツが入らない方が良いのかが気になって、研究をしていると運動は嫌いだけどスポーツは好きな子どももいたりするので、言葉の揺らぎが気になりました。</p>
会長	<p>成人のスポーツ推進の箇所に、成人の方が自分の体の現状を知るような機会があればどうか、推進の下支えになるようなイメージかと思</p>

	ます。
事務局	ビワテクアプリで健康づくりの目標設定、健康診断の管理ができます。スポーツという言葉を使っていますが、市としては体を動かすことを推奨していきたいと考えております。
事務局	柱2スポーツができる場の確保について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span> (事務局説明)
委員	ライフステージのところと繋がりますが、身近な場所はどこを考えられていますか。
事務局	地域の公民館などを想定しています。
委員	資料の中に公民館と明確に記載した方が良いと思います。
委員	高齢者は百歳体操やゴムを使った運動をやっておられます。そういう方はグラウンドゴルフを気張ってやっている方であり、百歳体操などにも来られます。それ以外の方が30分以上の運動をしているのか、そういうところを考えていけないと思います。サロンをしても元気な人は出て来ますし、出て来ない人はどこにも出て来ません。そういう人がどれだけ運動しているのかをつかんで、場の提供や仕組みを考えないといけない。具体的な分析がもう少しあると取り組みやすいと思います。
会長	歩いていける公民会には運動できる場がありますか。
事務局	会議室のような場所があります。
委員	机や椅子があり動かすのが手間です。
委員	百歳体操を地域の自治会の公民館を利用してやっています。高齢者はサロンもしています。必ず歩いて来てもらいます。公民館は利用頻度が高いので、公民館は地域を起こす底辺であり、出られない方を起こすには必要であります。併せて、声掛けは必要かと思えます。



会長	公民館は守山市にいくつありますか。
委員	各自治会にあります。
事務局	約 70 箇所です。
会長	公民館の稼働率はどの程度あるのですか。運動ができる場所として確保できるかもしれない。
委員	守山市に実績を報告していないので、たぶん把握されていないです。例えば、百歳体操を何人かでやった時は「わ」で輝く自治会応援報償にも入っていないので報告していません。健康推進員として個人的にしている、お金をもらってやっていないので、上にあがることはないです。
会長	ボッチャなどもこういうところで、できるのではないかな。
委員	できます。
会長	公民館での運動に関する予算はどれぐらいありますか。
事務局	自治会は自治会員がおられて、ボランティアのようなものになります。市が直接費用を出すことはありません。
委員	遊び場の確保ですが、小学生を対象にした事と考えられるが、僕らのころは、放課後は小学校の校庭で遊ぶことが基本でした。仮に市民運動公園の多目的グラウンドを開放されて中洲の子どもが来るのか。立入、吉身の子が行くか。多分ないと思います。何かクラブに入っていれば別ですが、ボール遊びをする場所の 1 番基本的な場所は、小学校のグラウンドだと思います。なんでそれが入っていないかは、みんな早く帰りましょうになっているのか、スポーツ少年団が何時から使うから使えないなどであれば別ですが、子どもたちが小学校のグラウンドは子どもたちが通う基本的な場所であるため、そこをベースに考えた方がよいのではないかと思います。
副会長	基本的に、いったん子どもたちは安全面を考えて下校させなければい

	<p>けません。今はそういう時代になっています。おそらくそこから学校へ戻って来ています。それは、社会体育で使われるまでは自由に使ってよいが、暗くなる前に帰らなさいという形になります。この頃、安全面も考慮されているので、絶対に1人では遊びに来ないでねという形でやっています。いわゆる駄目だということではありません。</p>
事務局	<p>学校をすぐに帰らないといけないのはあまりにも閉鎖的かと思っています。そのあたりも委員のご意見を計画に入れていき、ハードルを越えたいと思います。昔は道路でボール遊びをしている子どもも多くいました。</p>
委員	<p>町内の小公園でボール遊びをして、隣の車を傷つける事例もあります。その都度、そこで遊ばないように注意し、学校へ行くように言っています。学校が閉鎖的かはわからないが、とにかくきちんと帰して、その後は、たくさんの子供が遊びに行きますが、実は自治会としてもそれを心配しています。登下校はちゃんと見守り活動を付けて、後は任意で遊びに行けと言いながら、ほったらかしで何かあると怖い。学校で遊んでもらうのは良いが、そこをどうするか心配です。</p>
事務局	<p>安全性についての観点も踏まえながら検討していきます。</p>
委員	<p>スポーツができる場の確保は、公の施設が多いです。行政は市民の要望で弓道場やサッカー場など作っていますが、公ばかりに求めていく時代は終わったと思います。例えば、民間の企業の体育館や野球場を連携して使わせてもらう。スポーツ協会ではハーフマラソンを佐川の保養施設をお借りしてスタート地点にさせてもらっています。民間企業が管理されている施設をお借りすること、立命館守山高校の陸上競技場なども連携して使わせてもらえるとわざわざ作らなくて良い。あるものをコミュニティとして一緒に使わせてもらえるとより良い市民のスポーツ活動の場所につながります。計画に付け加えてもらっても良いと思います。</p>
会長	<p>立命館大学の草津キャンパスは草津市と包括協定を結んでいます。子どもが来てもらって、運動をやっています。運動ができる場所の拡大を目指すようなことも書き込めると良いかと思っています。</p>

事務局	柱3 スポーツを推進する人材の育成および柱4 情報提供・発信の充実について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span>  (事務局説明)
委員	各委員それぞれの分野で関わっておられ、具板的な案が出て素晴らしい。 柱3番のところで、スポーツインテグリティのことを触れてほしいと思います。 また、外部の人と取り組む施策が現在ないので、日体大との連携のところでスポーツツーリズムとして、日体大の学生の合宿を守山でやって、子ども達にスポーツを教えることも可能かと思います。
会長	スポーツインテグリティとは、スポーツの高潔さという意味ですね。
委員	インテグリティはドーピング、ハラスメント、暴力など様々な意味があり、国体も近いので、人材育成のなかで行っていき、指導者から子どもたちに下りてこれば良いと思います。
会長	(1)指導者の育成①指導者講習会へも参加促進や指導者研修会の開催のところで記載されている、日本スポーツ協会が主催する指導者講習会においてドーピングやハラスメントの問題を取り扱われております。そういう研修会を通じて、指導者にご理解頂いて、子ども達に指導していくというご意見でよかったですね。また、スポーツツーリズムは柱5で議論させていただきます。
委員	いろんな意見があり、実践すれば「守山市のスポーツは変わる。スポーツでまちづくりができる。」と思いますが、前回に続きますが、情報提供が一番大事だと思います。情報社会の中、インスタグラム、ツイッターなどをどのように活用するかが重要だと思います。いろいろな施策が決まっていくなか、10代、20代の若い世代は発信力があり、その人たちにどのように情報を伝えていくかが重要。 高齢者の方へはポスターなど身近なところで伝えていくことが重要だと思いますし、若い世代へはユーチューブなどを活用する。スポーツを1つ上のステージにもっていくには、動機づけが必要だと思いますし、そのためには見せ方の工夫が必要だと思います。
事務局	守山市ではフェイスブックで、ホストタウン事業の際には大いに活用

	<p>しました。若い世代へはこういうツールを活用しながら、情報発信を行うとともに、広報や様々な媒体を活用しながら情報発信を行いたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>情報発信が全て。せっかく良いことをやっても知らない方が多すぎる。我々も出来ていないなかではありますが、宣伝が下手なのかと思います。見ていてワクワク・ドキドキする仕掛けが必要であるし、スポーツをやっていない人に取り組んでいただき、寝た子を起こさないでスポーツ人口は増えない。時代はSNS。一方で、ついていけない人もいるし、そういう人へはチラシやフリーペーパーを作成し、発信することが必要であるし、誰がやっていくのかも重要であると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>基本理念は、「誰もが」「どこでも」「いつまでも」レッツスポーツ！～『健康元気なまち』を目指して～というわけで、自治会スポーツの推進を前回提案しました。情報発信において、市のHPは市主催のもののみ掲載されていますが、各学区、各自治会で取り組んだ行事は掲載されていない。「誰でも」「どこでも」「手軽に」取り組んでいくためには、学区や自治会の取り組みを発信することで、「おもしろいことをやっているな。それなら、うちの自治会でもできる」となっていくと思う。また、そういう企画ができる人を育てていくことが必要であるし、発表できる場があると底辺拡大になるかと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>情報発信で誰が主体ということはあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>スポーツについてはスポーツ所管課で実施しているが、地域のことまで網羅できていないので、検討していく必要があると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>情報発信が全てだと私も思います。これをきっかけに基盤を作っていく必要があると思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>秘書広報課という部署が市全体のPRをやっていますが、広報についてはフェイスブックしかツールがないので他の媒体を検討していかないといけないと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>各自治会の広報は、市のHPで見ることができます。ただ、私は自治</p>

委員	<p>会の広報担当で良く見っていますが、どれだけ見られているかは分かりません。</p> <p>広報では動きがないので、おもしろくない。</p>
会長	<p>皆さんは、HPでワンストップで情報が得られる仕組みのことをおっしゃっているのですか。</p>
委員	<p>市のHPで、守山市だけではなく文体事業団、総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団等の情報が得られるようにできないですか。市のHPを閲覧しても、今はいろいろなところへリンクで行くこととなるので、市のHPを見たらいろいろな団体の行事が載っていれば良いかと思えます。知らない人が知っていただき、スポーツ人口を増やしていきたいわけでありまして。</p> <p>サッカーやバスケスクールを探す保護者は先ず、インターネットやSNSを見ます。イベントもおもしろそうであれば、参加してみようとなるし、そこに動画があれば興味を示してくれるかもしれないし、参加しようという動機づけになるかもしれない。</p>
事務局	<p>手前味噌ですが、市のHPが陳腐化しているので、来年度に切り替えを計画しています。そこに「スポーツ広場」みたいなサイトがあり、いろいろな人が投稿できるようなイメージかと思えます。非常におもしろい意見だと思えますし、ぜひ検討させてもらいます。</p>
委員	<p>市民が参画できるイベントはどれぐらいあり、結果も掲載しているのですか。</p>
事務局	<p>スポーツフェスティバル、祝賀駅伝、ハーフマラソン等があり、市のHPに結果も掲載しています。</p> <p>ただ、村田委員のご意見は、市のイベントだけではなく、自治会等の情報も分かるようにしてはどうかというご意見であったと思えます。</p>
委員	<p>自治会のイベントの参加対象者は自治会の方だけですよね。</p>
委員	<p>いろいろなことをやっていることが分かることが重要であり、底辺拡大につながる。</p>

会長	ここは重要であり、新しい項を起こし、「システム構築に踏み出す」みたいなことが書ければ良いかと思えます。
事務局	柱5 スポーツによるまちの活性化について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span> (事務局説明)
委員	スポーツツーリズムやスポーツキャンプ地としてのまちづくりは可能でしょうか。他市ではそういうことで収益を上げておられます。クラウドファンディングやふるさと納税のスポーツのところを踏み出すだとか。スポーツ大会のボランティアに付加価値をつけるとかは可能でしょうか。
事務局	ツーリズムの関連ですが、45(よんご一)都市として守山市、東京の福生市、北海道の登別市と小学生の交流として、日本体育大学の施設で交流を図った実績があります。 ふるさと納税のご意見については、ふるさと納税をクラウドファンディング的に活用できないかというご意見でよかったですか。
委員	ふるさと納税の分類にスポーツというのがあるので、そういう財源を活用するなかHP等の整備に活用できないですか。 返戻金にスポーツイベントに参加することなどをされている市もあります。
事務局	総合政策部でふるさと納税を取り扱っているので、検討します。
委員	令和2年3月にスポーツ振興基金条例というのをつくられた。誰が、どういう判断でお金を回すのか、スポーツの振興にどうつながっているのか、まだ見えないと私は思っていますが。行政は宣伝が下手なところがあるが、既に今やっているの、計画に盛り込んだらどうでしょうか。
事務局	こういう計画に盛り込むと我々も動き易くなりますので、ありがとうございます。
会長	柱のところ、スポーツ振興基金の活用を踏まえ、まちの活性化を図るということを加えていきましょう。

事務局	キャンプとはどのようなことですか。
委員	宮崎、沖縄などはスポーツのキャンプを誘致されてますよね。プロ野球やJリーグ以外でも、小、中、高校や大学のキャンプでも町へお金を落としてくれるし、日体大の学生も守山でキャンプをさせてもらうようなことができるかもしれない。宿泊施設で市が経営しているものはありますか。
事務局	市が関わっている施設はありますが、閉鎖の方向となっています。
会長	まちの活性化で収益のことを入れられないかということですが、収益を得て、情報提供のところでコンサルに入ってもらえることなどができたら良いと思いますが。
委員	キャンプの現状ですが、たくさん合宿の問い合わせがあります。ただ、市内や県内の利用者により、施設がほとんど埋まっており、需要が多い夏休みは集中して施設が埋まっている状況です。 一方、サッカー場の方は、誘致したいのに近くに宿泊施設がないことがネックとなっています。
会長	難しいようですが、旅行会社と組んだりして研究していくというところではないでしょうか。 最後にご意見あればお願いします。
委員	スポーツ推進計画を進めていくうえで、行政の横の連携は万全でしょうか。介護予防は長寿政策課、エコパークはごみ減量推進課が所管。指定管理者の我々がイベントをやる際、所管が違いますが連携されているのでしょうか。
事務局	当然、連携した中で計画を作成していきます。
	閉会